

1	1931		21	北京		41	イギリス
2	1932		22	盧溝橋	※	42	ソ連
3	1933		23	南京		43	日ソ中立条約
4	1936		24	国家総動員法		44	ベトナム
5	1937		25	ポーランド		45	樺太
6	1938		26	フランス		46	台湾
7	1939		27	アンネの日記		47	イギリス
8	1941		28	アウシュビッツ		48	オランダ
9	1945		29	杉原千畝	※	49	パールハーバー
10	②		30	命		50	東条英機
11	みなみまんしゅうてつどうばくは 南満州鉄道爆破事件		31	日独伊三国同盟		51	学童疎開
12	15		32	大政翼賛会		52	ヤルタ
13	生命線		33	大日本産業報国会		53	ソ連
14	いぬかいつよし 犬養毅		34	隣組		54	平和の礎
15	海軍		35	国民		55	③
16	リットン		36	フランス		56	中華民国
17	りくぐん 陸軍		37	ドイツ		57	②
18	二・二六事件		38	ポーランド		58	原爆ドーム
19	ちあんいじ 治安維持法		39	スイス		59	ミズーリ号
20	ぐんこく 軍国主義		40	イタリア		60	おがさわらしょとう 小笠原諸島

記述1 中国を日本の植民地にして資源を安く手に入れ、輸出を増やして日本の不景気を解決しようとした。

記述2 犬養毅が満州国の承認に反対していたため。

記述3 戦争を続けるために、石油やゴムなどの資源を手に入れる必要があったため。

記述4 このとき、ソ連はまだ日本と戦争をしていなかったため。

記述5 原子爆弾の恐ろしさを後世に伝えるため。

記述6 ○アメリカの力で日本を降伏させたことを示すため。○戦後の国際社会の中でより有利な立場に立つため。